



令和6年度 1月号 川口市立辻小学校

令和7年1月8日

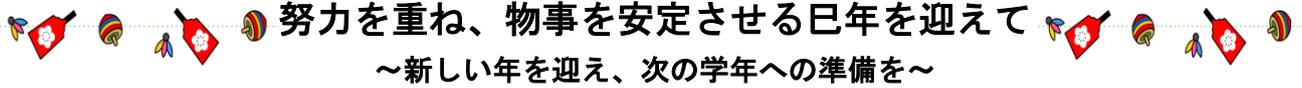
# 辻小学校だより

学校教育目標

○学ぶ子（知）

○やさしい子（徳）

○元気な子（体）

 **努力を重ね、物事を安定させる巳年を迎えて**  
～新しい年を迎え、次の学年への準備を～

校長 近藤 百合

令和7年がスタートしました。令和7年の十二支は「巳年」。干支では「乙巳（きのとみ）」となります。巳の日（みのひ）は、12日に1度巡る吉日で、神の使いと言われている白蛇の縁日です。その中でも「乙巳」は、60年に1度しか訪れない貴重な日なので特に縁起が良いとされています。一般に「蛇」は良いイメージを持たれませんが、「蛇」は復活する様から繁栄の象徴として世界中から崇められています。そして巳年に生まれた人は、蛇のように知恵深く、粘り強い性格を持つともいわれています。「巳年」は努力を重ね、物事を安定させる年といえます。努力の成果は人それぞれです。すぐに表れる人もいますが、多くの方は成果が出るに時間がかかります。成果を求め、人は努力するのですが、途中であきらめてしまうとせっかくの努力も成果として表れません。だからこそじっくり耐え忍ぶことも必要なのです。「巳年」は辛抱強さが試される年にもなります。結果が出なくても、焦らず粘り強く取り組む姿勢が重要で、着実に前進することで、最終的には自分が望む結果に近づくことができるのです。

「辰年」では、今まで努力してきたことが実を結んで成就するといわれていますが、「巳年」で努力を重ねることにより、物事が安定して、さらに良い年になっていくのです。

「乙巳」は60年に1度しかないので、大きな出来事は多くありませんが、古くは中大兄皇子と中臣鎌足が当時の権力者、蘇我入鹿を倒し、蘇我氏を滅ぼした「大化の改新」（645年）は「乙巳」に起こっています。また、1965年は前年に東京オリンピックが開催されており、その余韻が残る中、経済発展が加速しました。大化の改新後の日本も天皇中心の政権が安定しましたし、東京オリンピック後の経済成長によって世界に通用する経済大国として今も続いています。

さて、新しい年を迎えましたが、6年生は卒業まで50日、それ以外の学年は51日の学校生活です。令和6年度のゴールに向かって「次の学年に向けて、努力を重ね、安定していく」ように子供たちを支援していきたいと思えます。保護者の皆様には引き続き、ご理解ご協力をお願いいたします。

子供たちは新年を迎えるとき「今年こそは…」という気持ちを持っています。そしてそのためにどんなことをしようかと考えます。それは次の学年への希望が大きいためです。そして自分の行動を振り返ることができるとても大切な時間です。一方で目標を大きく立てすぎて途中で挫折してしまう子供も多くなります。そんなときに大人が「計画を立てても無駄だったね」のような声かけをすると子供たちの気持ちは一気にやる気を失ってしまいます。やる気を失えばそのあと、努力をすることをやめてしまいます。目標は少し高くてもいいのです。そこに向かってどんな努力をするかが大事です。大人の役割は子供たちの目標を見守りながら適切な声かけをし、目標に近づけさせるようにしていくことです。そしてその子が頑張っていることは褒めて、やる気をなくしたら励ますこと、これが子供の成長を促すのです。次の学年への準備を始めた子供たちに適切な声かけをし、一歩ずつでも成長できるよう支援していきましょう。

辻小学校のホームページを是非、ご覧ください。

学校の教育活動等随時、更新しております。「辻小学校」で検索いただくか、右のQRコードからも、閲覧することができます。

子供たちの日常的な学習の様子もご覧ください。

学校ホームページ <http://tujisyou.official.jp/>

